

しあわせ信州創造プラン 3.0

北アルプス地域計画 (概要版)

長野県総合5か年計画（令和5年度～令和9年度）

北アルプスの恵みを活かした
観光や農林業などの産業が栄え、
「暮らす人」が **幸せ** を実感し、
「訪れる人」が **感動** する地域
を目指します



長野県北アルプス地域振興局



はじめに～地域計画の策定について～

現在、少子化や人口減少等により、産業や地域の担い手不足が深刻化するなど、各地域では様々な地域課題を抱えています。県では、それらの地域課題に対応するため、10圏域ごと独自性のある地域計画を策定し、目指す地域の姿・方向性等を明らかにし、地域のみなさまと共有し、魅力ある地域づくりを進めていきます。

令和5年3月

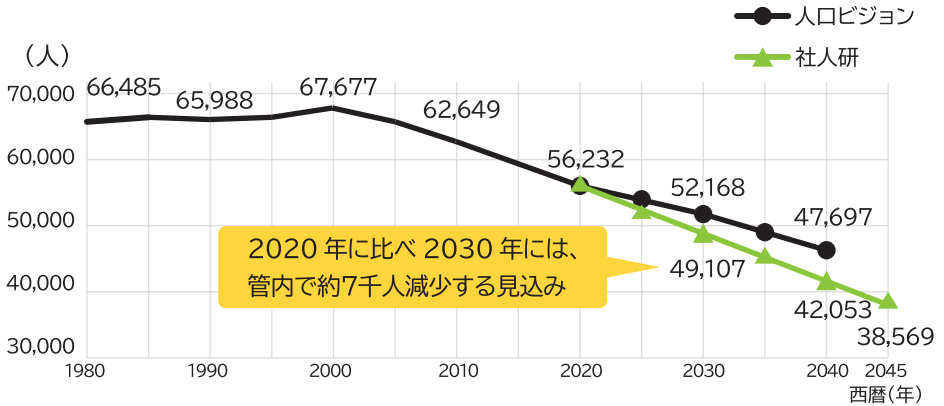
— 目次 —

	ページ
1 はじめに	… 1
2 北アルプス地域の特徴(データ)	… 2,3
3 北アルプス地域の目指す姿・重点政策	… 4
4 重点政策の取組内容	
重点政策1 農業、林業、製造業などの稼ぐ力を高める	… 5,6
重点政策2 観光誘客や移住者増加につながる 地域の魅力を高め、発信する	… 7,8
重点政策3 地域の中で安心して生活できる環境を整え、 次の世代につなぐ	… 9,10
5 参考「県全体計画」 「しあわせ信州創造プラン3.0」 ～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～	… 11



北アルプス地域の特徴(データ)

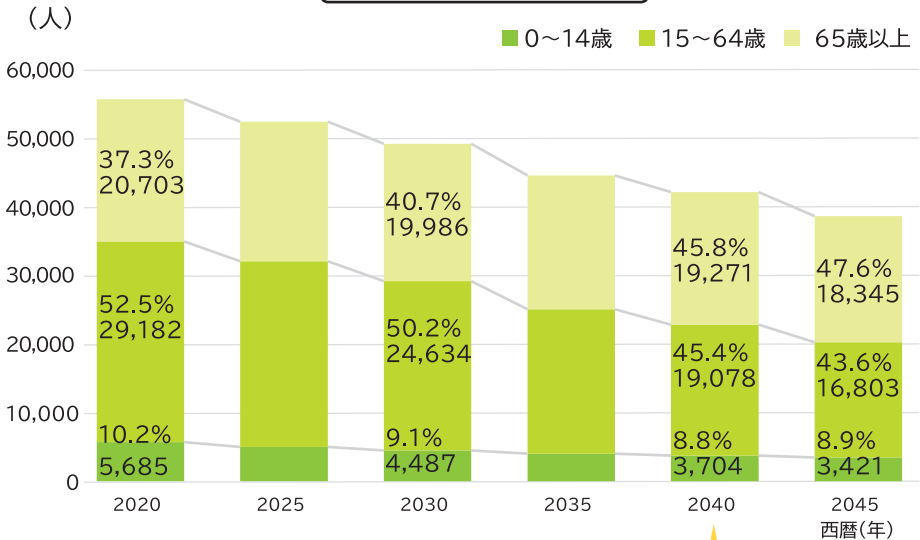
管内人口の推移



注) 2020年までは国勢調査、2025年以降は社人研推計及び市町村人口ビジョン(地方創生総合戦略)

注) 人口ビジョンは2045年まで推計していない市町村があるため2040年まで記載

年齢3区分別人口の推移



注) 2020年までは国勢調査、2025年以降は社人研推計

2040年には、65歳以上人口が就労人口(15歳~64歳)より多くなり、14歳以下は約3,700人となり、2020年に比べ約2,000人減少する見込み

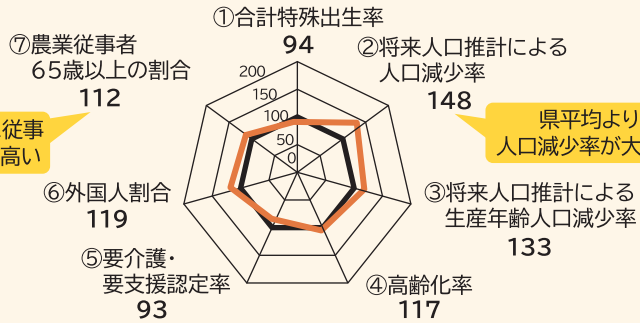
県平均を100として北アルプス地域と比較(指数)

人口



高齢者が農業に従事している割合が高い

県平均より人口減少率が大い

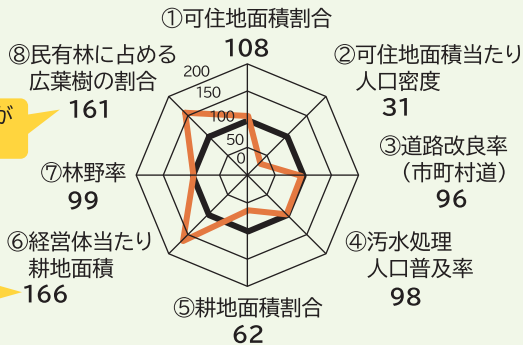


地勢



広葉樹の割合が大きい

大規模経営体への農地集約が進む



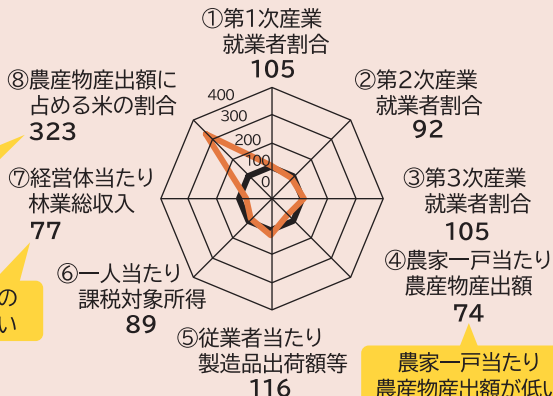
産業



米の割合が特に高く、米づくりが盛ん

林業経営体の規模が小さい

農家一戸当たり農産物産出額が低い





北アルプス地域の目指す姿・重点政策

3つの重点政策を柱に、事業を推進していきます

目指す地域の姿

北アルプスの恵みを活かした
観光や農林業などの産業が栄え、

「暮らす人」が **幸せ** を実感し、
「訪れる人」が **感動** する地域



地域重点政策

1

産業振興

農業、林業、
製造業などの
**稼ぐ力を
高める**



2

観光振興・移住促進

観光客や移住者
増加につながる
**地域の魅力
を高め、
発信する**



3

生活環境整備

地域の中で
**安心して
生活できる
環境を整え、
次の世代に
つなぐ**



取組内容

【農業】の稼ぐ力を高める



■米の効率的な生産の推進と多様化する米市場への対応

- 高密度播種育苗^{はしゆいくびょう}、畦畔管理^{けいはん}等の省力管理技術の実証、スマート農業機器の導入等により省力化と低コスト化を推進
- 環境負荷を低減した持続可能な農業の取組拡大を推進
- 酒米の高品質化に向けた栽培技術の実証・普及や、「山恵錦」の普及を促進
- ほ場の大区画化など農地整備を推進



スマート農業田植機(地力データに基づき施肥量を自動制御)(池田町)

■実需者ニーズに応じた高収益作物の導入と地消地産・地産地消の推進

- 水田農業の所得向上のため、水田への高収益作物(園芸品目等)の導入を推進
- 高収益作物の導入が可能な農地・かんがい施設等の基盤の整備を推進
- 用水の安定供給のため、農業水利施設の長寿命化と適切な維持・更新を推進



ほ場の区画拡大が進む北城南部地区(白馬村)

■地域特産物のブランド化の推進

(北アルプス山麓ブランド、日本酒・ワインなど)

- 山麓ブランド品を活用した地域特産物の販売促進を支援
- 海外に向けたPRと販路促進のほか、生産者の拡大・組織化等を推進

<達成目標>

指標名	現状	目標
大規模水稲経営体におけるスマート農業技術導入率	38.1% (2021年度)	56.6% (2027年度)
酒米(山恵錦)栽培面積	25ha (2021年度)	35ha (2027年度)
高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積	2.4ha (2022年度)	13.0ha (2027年度)

【林業】の稼ぐ力を高める



■健全な森林の育成と広葉樹材など森林資源の利活用の推進

○人工林の主伐・再造林や松くい虫被害地での更新伐等を推進し、健全な森林の育成を図るとともに、木材の用途に応じた利用を促進

○広葉樹の用途に応じた生産・加工・販売の仕組みを構築することにより、地域資源を活かした林業のビジネス化を推進

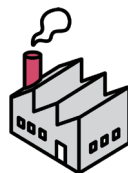


広葉樹フォーラムの現地研修会の様子(大町市)

<達成目標>

指標名	現状	目標
民有林の素材(木材)生産量	14,000 m ³ (2017～2020年平均)	17,000 m ³ (2027年)

【製造業】の稼ぐ力を高める



■中小企業の経営基盤強化の支援と若者の地元企業への就職促進

○産学官金の連携により、設備投資やIT導入支援施策の活用サポートなど経営基盤強化を支援

○デュアルシステムによる就業体験など、学校が取り組むキャリア教育の充実を支援し、若者の地域における就労を促進

<達成目標>

指標名	現状	目標
製造業の従業者一人当たり付加価値額	1,209 万円 (2015～2019年平均)	現状比+10.0% (2025年)

観光誘客や移住者増加につながる 地域の魅力を高め、発信する

取組内容

【観光振興】



■長期滞在型観光の推進とインバウンドの復興支援

- 地域の魅力を情報発信する取組や長期滞在型観光への取組等を支援
- 「信州まつもと空港」を拠点とした周遊観光を促進
- インバウンド復興に向けた活動や通年誘客に向けた取組を推進するため
HVT等の取組を支援 ※「HVT」:(一社)HAKUBA VALLEY TOURISM
- 白馬駅前無電柱化事業など街並み整備を推進
- 自転車走行に配慮した道路環境の整備や情報発信を推進するとともに、
広域的なサイクルツーリズム等を推進
- 登山道整備等への支援や生態系保護のための野生鳥獣の防除対策などにより
山岳環境を保全



ヒルクライム(登坂)コース(小谷村)



白馬駅前無電柱化工事の現場を見学する小学生
(白馬村)

■観光分野におけるSDGsや農観連携等の推進

- 氷河など自然環境の保全を進めるサステナブルツーリズム等の取組を支援
- 農村、農業水利施設の歴史や景観を楽しむ学ぶための体験学習などを支援
- 伝統的な食文化や特産品など地域の「食」を活かした観光推進の取組を支援
- 「北アルプス国際芸術祭」など地域が協働でまちづくりを進める取組を支援

<達成目標>

指標名	現状	目標
観光地延利用者数	411 万人 (2021年)	702 万人 (2027年)
グリーンシーズン (4月から11月) 延利用者数	270 万人 (2021年)	437 万人 (2027年)

【移住・定住促進】



■移住・定住の促進と人材の確保

- 移住相談会の開催や、「農ある暮らし」など地域で暮らし・働く魅力を発信
また、移住後のサポート体制づくりを推進
- 地域おこし協力隊の定着率向上を図るため、隊員同士の交流等の支援や、
任期満了後の起業・就業を支援
- 北アルプス産の「食」や「山村留学」など特色ある「教育」を発信し移住を促進
- 空家対策大北地域連絡会を開催するなど、空き家対策の取組を推進
- 中・高校生等を対象に、医療・福祉・建設等の就業につながる取組を推進
- 新規就農者の確保・育成を推進するとともに、就農相談等の取組を推進



移住相談会(地域振興局及び管内市町村共催)
の様子(東京都)



高校生を対象に介護の魅力や介護技術に
ついての講座を開催(白馬高校)

■多様な就労機会の創出と女性の起業支援

- 多様な就労機会を創出し地域を活性化させるため、季節雇用を組み合わせる
特定地域づくり事業協同組合や、労働者協同組合法による協同組合の導入を支援
- 地域の活性化にもつながるよう女性の起業を支援

<達成目標>

指標名	現状	目標
移住者数	1,347人 (2017～2021年度累計)	1,750人 (2023～2027年度累計)

取組内容

【地方公共交通等】

■松本糸魚川連絡道路の事業化に向けた取組

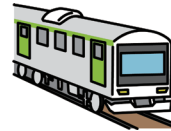
- 大町市街地区間の事業化に向けた調査・検討を推進。また、その他区間の調査・検討、国道148号(雨中、塩水、白馬北)の整備を推進



松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間についてのオープンハウス(地域住民の皆様に向け直接説明する場)の様子(大町市)

■地域公共交通の支援とJR大糸線の利用促進

- 地域公共交通が適切に機能するよう支援
- JR大糸線の利用促進に向けた取組を支援するとともに、北陸新幹線の敦賀延伸に伴う観光誘客を他圏域と一体的に推進



【ゼロカーボン推進】

■ゼロカーボンに向けた取組の推進

- 住宅等の太陽光発電や高断熱住宅の普及、木質バイオマスの利用促進、小水力発電施設の整備など、再生可能エネルギーの導入を促進
- 「大北地域ゼロカーボンミーティング」や、ゼロカーボンに係る各種テーマの講習会を開催



農業用水路の流量と落差を利用した小水力発電施設の設置予定地(白馬村)



<達成目標>

指標名	現状	目標
再生可能エネルギー発電施設導入容量	76,402kW (2021年度)	111,481kW (2027年度)

【防災・減災の推進】

■砂防施設等の整備、緊急輸送道路の防災機能強化と地域防災力の向上

○砂防堰堤等の計画的な整備や砂防施設、道路施設の長寿命化、道路の落石対策等の実施、水田の貯留機能を活用した**田んぼダム**など流域治水の取組等により防災・減災を推進

○地区防災マップ作成の支援や地震防災訓練等を実施



砂防堰堤(小谷村)

<達成目標>

指標名	現状	目標
地区防災マップ作成地区数	32地区 (2021年度)	52地区 (2027年度)

【安心して過ごせる環境づくり】

■生涯を通じた学びや地域活動の支援と共生社会に向けた取組

○生涯学習の支援により、人々の自己実現や地域におけるコミュニティ活動を促進

○ボッチャ等のスポーツ・レクリエーション体験の場を創出するなど、障がいのある人もない人も、お互いを理解し尊重し合う社会づくりの取組を推進

○信州こどもカフェの活動を支援し、子どもの居場所を支える取組を推進



ボッチャ体験会の様子(松川村)

■地域住民の健康づくりとシニアの居場所づくりの推進

○検診の受診勧奨や食生活改善の取組を推進するなど、住民の健康づくりを支援

○「まちの縁側づくり」など、シニアの社会参加活動を促進



■地域におけるデジタル化やDXの支援

○様々な地域課題の解決に向け、地域におけるデジタル化やDXの取組を支援

■参考【県全体計画】

しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～



基本目標 「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」

新時代創造プロジェクト

- 1 女性・若者から選ばれる県づくり プロジェクト
- 2 ゼロカーボン加速化 プロジェクト
- 3 デジタル・最先端技術活用推進 プロジェクト
- 4 個別最適な学びへの転換 プロジェクト
- 5 人口減少下における人材確保 プロジェクト
- 6 世界で稼ぎ地域が潤う経済循環実現 プロジェクト
- 7 県内移動の利便性向上 プロジェクト
- 8 輝く農山村地域創造 プロジェクト

(問合せ先) 長野県北アルプス地域振興局企画振興課



〒398-8602 長野県大町市大町1058-2

電話：0261-23-6501

FAX:0261-23-6504

電子メール：kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp



「農ある暮らし」
事例紹介動画
(各市町村編)



「北アルプス山麓
地域で暮らし働く」
魅力発信動画



北アルプス地域
サイクリング
「モデルコース」

